

OKAZAKI

ARCHITECT&ASSOCIATES

改修・リノベーション特集

私どもの仕事は新築だけでなく、それまで使われていた建物に手を加え、有用な資産として蘇らせるのも重要な仕事です。地球にやさしいだけでなく、古いものの良さを引き出し手を加えることにより輝きを蘇らせ新旧おりなす思いがけない良さを持つ、有為なる空間を創り出すのが改修、リノベーションです。

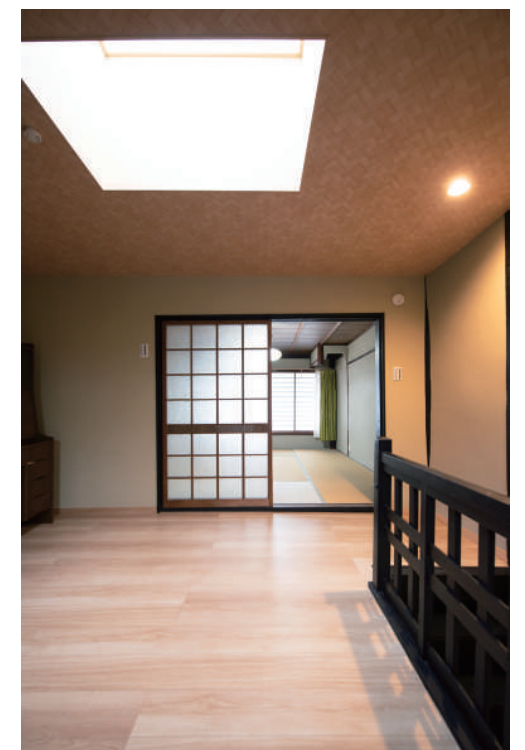
江戸時代からの町家の改修

思い入れのある財産に改修という手を加え
新旧織りなす有為な空間を演出

新しく取り入れた屋根からの光
見違えるように明るくなります



改修前



町家の切り離し改修

江戸時代からの町家が時代と共に、連棟長屋として使われていたところを二軒に切り離したいとの要望で改修。

二軒の境界にスリットを入れて切り離します。

伝統工法で創られた町家の切り離しは細心の注意が必要です。
重い屋根・厚い土壁・礎石に載っているだけの基礎。
建物の特質を十分に理解・検討し、可能と判断した
上での補強をしながらの切り離しになります。

二軒とも町家として残り、長く使われてきた風合いを残し貴重な財産として、これからもあり続ける。

連棟長屋は二軒・三軒一緒になって建ってます。
一軒を解体される場合には残った側の建物の安全性を十分に検討する必要があります。

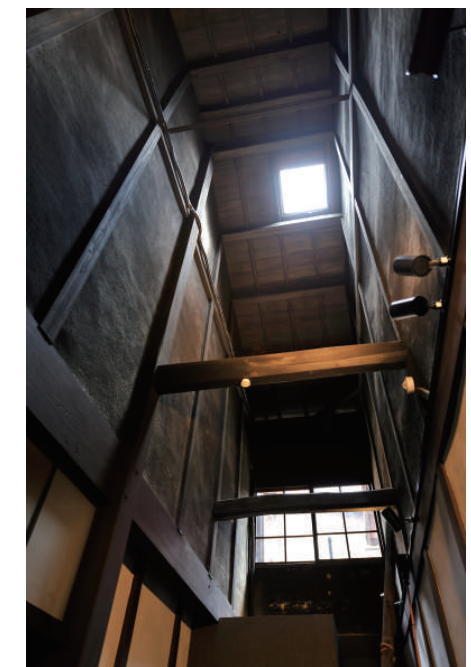
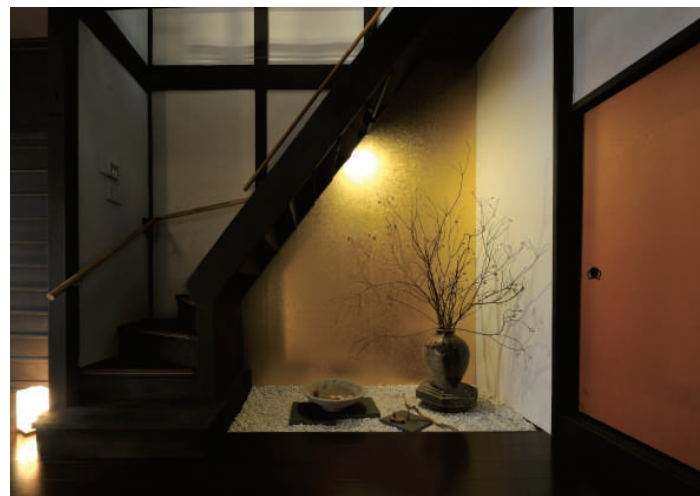


切り離し改修前



町家から宿への改修

おくどさん、箱階段、座敷、坪庭
埋もれた輝きに再びよみがえっていただきました。
町家特有のまん中の暗い部分にあえてガラス床を設け
明るさと目線の広がりを演出。
ガラス床でウェルカムお茶のおもてなしがあるようです。
一度この浮遊感、体験してみてください。



住宅から宿への改修

住宅を周りの寺社の黒壁に溶け込ませる様、1階に黒壁を配しおもてなし、くつろぎにつながる演出を加えた宿。

元町家でなくても異空間の宿に変身します。



店舗の改修

和室として使われていた4帖半を商談室への改修

改修にあたって留意したことは

- ・和室の雰囲気そのまま活用すること
- ・タタミの床を下げ段差をなくして出入りがしやすくすること
- ・目線が外庭とつながり内外が一体となる部屋とすること
- ・なにより商談しやすい部屋とすること



改修前



店舗の改修

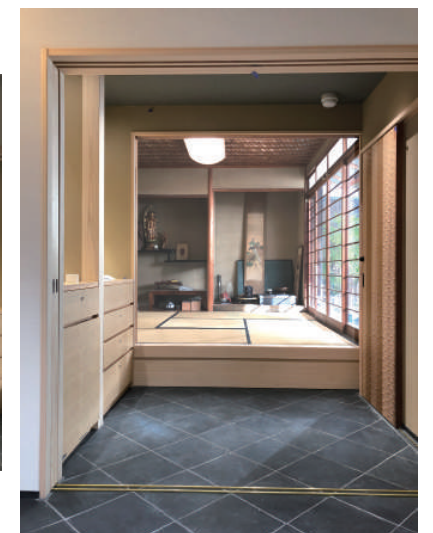
和室、商談室として使われていた離れの改修

一つ屋根の下、和室と商談室が別々の出入口を持ち独立した室として使われていたものを和室としても商談室としても又、和室・商談室が一体としても使える様にする改修。

外観の修景から始まり、和室・商談室として各々の室がしっかり機能し、一体利用の時には相乗効果のある使われ方ができる様に、また外観を含めて全体が美しさを持ち、なにより魅力が感じられるように留意して改修をおこなった。



改修前



高等学校の改修

老人ホームを耐震改修した高等学校

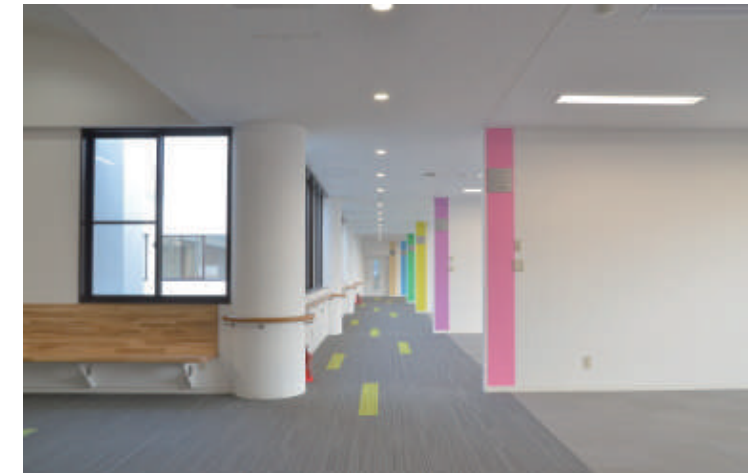
老人ホームに手を入れ若い高校生が晴れやかな気持ちで
集い学べる場に改修。
耐震改修も加え安心できる建物に。



改修前



改修前



駅前のショッピングセンターの改修

キーテナントが入れ替わるのを機にイメージを一新した外観改修



改修前

